

鹿児島県漁海況週報

平成22年9月2日発行(8月26日～9月1日)
第2369報(旧暦:7月17日～7月23日/月齢16.0～22.0/潮汐:大潮～小潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

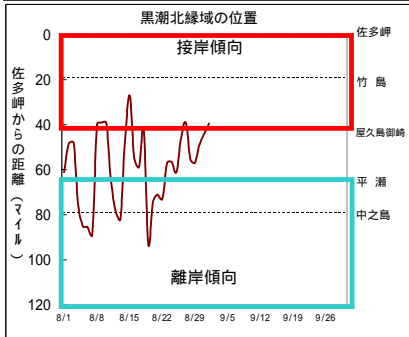
黒潮北縁域は9月1日現在、屋久島御崎の北1.5マイル付近にある。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は8月31日現在、547マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して屋久島御崎、中之島で0.3～0.5 昇温し、その他の海域では0.1～1.4 降温した。平年比較では与路島で“やや低め”、笠利崎、与論で“平年並み”、黒潮流域、佐多岬、竹島で“やや高め”となった他は“かなり高め”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	29.5	-0.2	+0.5	やや高め
鹿児島	28.9	-0.1	+1.3	かなり高め
佐多岬	28.6	-0.7	+0.8	やや高め
竹島	28.5	-0.4	+0.3	やや高め
屋久島御崎	29.4	+0.5	+1.0	かなり高め
中之島	29.4	+0.3	+0.9	かなり高め
笠利崎	28.5	-0.7	+0.5	平年並み
与路島	27.7	-1.4	-0.5	やや低め
与論	28.2	-1.0	-0.2	平年並み
甕海峡	28.9	-0.6	+1.3	かなり高め
甕島西	-	-	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は9/1-2
串木野 - 甕定期客船観測は9/1
甕島西(浮魚礁)観測は欠測

【漁況】

定置網

西薩南部海域では、ヒラソダ(600～700g)を1日のみ1トン、シイ(1kg)を1日のみ1トンの入網。鹿児島湾口薩摩半島側では、キハダ(50kg)を1日のみ1尾の入網。鹿児島湾口大隅半島側では、週計でキハダ(70kg)が2尾、カマスワラ(5～10kg)が30尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で33統がソウダガツオ、カマス、サハ類中主体に26トンの入網。

キビナゴ刺網

甕海域では、2～4箱/隻・日の漁。種子島海域では10～30箱/隻・日の漁。

トビウオローブ曳網

屋久島海域では中ヒを20～31箱/統・日、セミヒを9～28箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

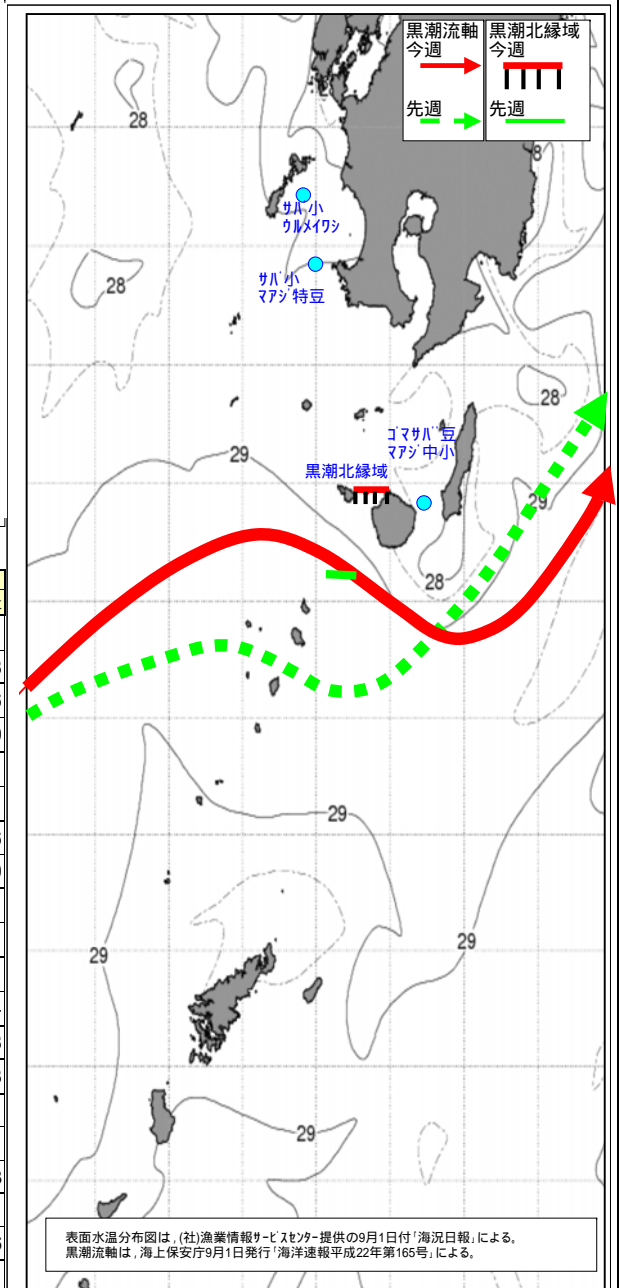
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前週		前年同期	
								隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	0	-		-		0	-	0	-
		中	8	56	甕東 野間池沖	ウルメイワシ44 サハ類小36 マアジ仔7	7.0	22	113	14	178
	枕崎	大	1	8	島間沖	マアジ中小77 マアジ小12 マアジ中8	8.4	2	41	2	26
		中	5	68	島間沖	ゴマサハ豆87 マアジ中小10	13.5	12	206	6	160
	内之浦	中	0	-			-	2	7	0	-
	山川	中	0	-			-	0	-	0	-
計	大	1	8			8.4	2	41	2	26	
	中	13	124			9.5	36	326	20	339	
東海旋網	阿久根	0	-			-	0	-	0	-	
	枕崎	0	-			-	0	-	0	-	
棒受網	阿久根	40	101	阿久根沖 長島	ウルメイワシ95	2.5	95	71	65	131	
	内之浦	0	-			-	7	29	2	4	
定置網	内之浦	33	26	ソウダガツオ33 カマス25 サハ類中13		0.8	40	50	26	18	
刺網	阿久根	53	3	甕	キビナゴ100	0.1	80	5	39	3	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-		-	0	-	0	-	
		小	0	-			-	0	-	0	-
	海旋	2	1,611		カツオ中89 カツオ小6	805.5	0	-	2	493	
	山川	中	0	-			-	1	5	0	-
海外旋網	海旋	2	1,267		カツオ小69 カツオ中22 キハダ9	633.4	0	-	1	256	
	瀬戸内	小	-	-		-	-	-	-	-	

その他

西薩海域では、底曳網でツヒガイを1日のみ30～200kg/隻、ごち網でタイ混じりでマダイ(1kg未満)を5～10kg/隻・日、刺網でイビ(200g)を多い船で7kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマアジ(150g)を80kg/隻・日、まわし刺網でキス(40～50g)を10～20kg/隻・日、底曳網でツヒガイを27～33kg/隻・日、曳網でシイ(1.2～1.5kg)を多い船で150kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、刺網でイビ(200～500g)を全体で100kg/日の漁。屋久島海域では、一本釣りでもメロ(0.4～0.6kg)を10～15kg/隻・日、カンパチ(5～6kg)を2～3尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、2～3日操業の一本釣りでチリオ(1～2kg)を100kg/隻、3日操業の旗流しで1隻のみカンパチ(10～27kg)を23尾、キハダ(20～30kg)を25尾、ピンガ(10kg)を5尾の漁。

パショウカジキ情報

流し網では、甕海域で20～30kgサイズを2日間で44尾、鹿児島湾口大隅半島側で18～25kgサイズを週計で30尾の漁。定置網では、鹿児島湾口薩摩半島側で20～30kgサイズが週計で10尾、鹿児島湾口大隅半島側で18～25kgサイズが週計で15尾の入網。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月1日付「海況日報」による。
黒潮流域は、海上保安庁9月1日発行「海洋通報平成22年第165号」による。